



発行所 磐城日日新聞社  
 福島県小名浜町落廻51  
 電話代表 387番  
 振替 仙台 31,355番  
 編集長 瀧芳郎  
 発行人

今日のメモ  
 読書週間始まる  
 親ら上人報恩講  
 アメリカ海軍記念日

### 小名浜定例町会第二日

### 立花藤社 両氏のサヤ當

**木村議員滞納整理でカミ付**  
 第八百六十五回小名浜定例町会第二日は二十五日午前十の委員会に引き継ぎ午後一時より開会、まず水野町長より小名浜町消防團長後任問題について二十四日消防團長に御代藤太郎氏、團長に志賀要平氏を團より推薦してきたので一應これを受理したと報告次いで議事に入る、午前中各部門に分かれて行われた追加更正予算の審議の結果を菅原總務、飯塚(新)経済、木田教育、金澤厚生、木村失對の各委員長より説明、一一般質問に入る、  
 金澤議員 警察吏員に贈る記念品代を交際費より出すのはどうかと思う、その説明を聞いた立花議員 税金を考慮した場合課税の對照となるのを免かれるためである

木村議員 滞納はどうか措置してあるか  
 木村議員 滞納はどうか措置してあるか  
 木村議員 滞納はどうか措置してあるか  
 木村議員 滞納はどうか措置してあるか

### 創刊一周年を祝して



縣會議員 大井川正巳  
 國民待望の諷刺會も九月九日(日本時間)午前三時四十五分東京に於て五十三ヶ國召集のもとに

地方文化向上に無私公の論議を以て社会の木鉢としての大道に邁進しつつある気運は地方新聞の基礎の先聲にして至實と仰がれ、今日維新の基礎を築き上げた長瀬社長、確立に成功した長瀬社長、確立に成功した長瀬社長、確立に成功した長瀬社長

### 僻地教育協議會 箕輪第一小學校で開催

永戸の各校であり、第一日は授業の自由参観、研究発表、講演、小々な分校を主とした複式授業の指導等の研究問題分科会、第二日は授業の共同参観、批評會、分科会の発表で正午閉會の予定である、尚該研究協議會は今後の地方文化向上に無私公の論議を以て社会の木鉢としての大道に邁進しつつある気運は地方新聞の基礎の先聲にして至實と仰がれ、今日維新の基礎を築き上げた長瀬社長、確立に成功した長瀬社長、確立に成功した長瀬社長

水素青婦部の委員会  
 小名浜町日本水素青婦部の建設によつて約三〇坪潰滅するため九百名の生徒のために委員会は十千坪を埋立てたいと思ふ、又定時生(夜間)のために通学道路に照明灯の設置の件や第三小學校の直直の件及び第二中学の件を報告して助成方を要望し、次いで西丸議員も過日地領察が行われた事、公社は誘致委員の結集した努力により小名浜臨港進歩の途上にある大小名浜建設資金として適當な時期に助成方を計る考へ、期に助成方を計る考へ、期に助成方を計る考へ、期に助成方を計る考へ

### 求人週報

平職業安定所小名浜分室  
 一、〇〇〇三、〇〇〇  
 三、〇〇〇三、〇〇〇  
 〇〇〇三、〇〇〇  
 〇〇〇三、〇〇〇

### 訂正

廿一日附二面碎水機事故の記事中、原因ベルトに巻かれとあるは水の落下によるものに付き訂正致します

### 天氣概況

(本日)北の南よりの風、朝のうちは晴れていますが、間もなく所により一時小雨があるかも知れません、(海上)おだやかな方です

## 講和條約締結祝 發刊一周年記念

### 吳羽化學工業株式會社

取締役社長 荒木三郎  
 専務取締役 山本三郎  
 常務取締役 高橋良一  
 同 野村眞

本社 東京都中央区日本橋富澤町10/14  
 電話茅場町(66) 1487, 3336, 3337, 4996, 6298  
 直通 3344  
 工場 福島県石城郡錦町大字中田字落合16/1  
 電話植田 24, 25 勿来 56

### 日本水素工業株式會社

社長 野田三郎  
 副社長 美濃部洋次  
 常務取締役 照井總治  
 同 武田市三郎

本社 福島県石城郡小名浜町字高山36  
 電話小名浜501-(4)119番直通  
 東京事務所 東京都中央区南橋町2の7  
 電話京橋(56) 5515-5516番地  
 仙台事務所 仙台市二日町十五番  
 電話仙台 2333番

### 常磐炭礦株式會社

社長 大越新  
 本社 東京都中央区銀座二ノ三  
 磐城礦業所  
 所長 林田滿  
 石城郡湯本町字辰ノ口  
 電話 840, 841, 842  
 湯本 3番

### 小名濱臨港鐵道株式會社

社長 浦田文二郎  
 常務取締役 眞木弘  
 総務部長 小野信一  
 電話 230, 272番

